

【本市における幼児教育の現状と課題】

- 幼児期からの基本的な生活習慣の形成が不十分
  - ・小1児童の肥満傾向者数の割合 石巻市 12.45% 宮城県 7.39% (令和3年度県調査)
  - ・小1児童のむし歯を保有する割合 石巻市 12.27% 宮城県 8.58% (令和3年度県調査)
- 就学相談(対象:年長児)数の増加 令和元年 56件 令和4年 73件
- 公立幼稚園の小規模化 ○ 公立保育所の施設の老朽化
- 私立幼稚園・保育園と小学校の連携が不十分
  - ・私立幼稚園・保育園との交流を行った小学校の割合 75.8% (令和4年度市教委調査)

【国・県の動向】

- 宮城県幼児教育推進指針「みやぎの学ぶ土台づくり」(令和3年3月)
- 宮城県幼児教育センターの設置(令和3年4月)
  - ・「公私・施設類型の区別のない幼児教育の質の向上」
  - ・現場に加えて、市町村・設置者等の支援を目的の一つとしている
- 虹の架け橋プログラム(令和5年2月)
- こども家庭庁の発足(令和5年4月)



【課題解決策】

**(仮称) 石巻市幼児教育センターの開設**

公私・施設類型の区別なく、幼児教育の質の向上を目指す  
= 遊びを通じた学びの充実

- 幼保小この連携の実現による学ぶ土台の育成
  - ・伸び伸びと遊べる ・心身共に健やか ・たくましさ

【研修】 保幼小こ合同研修会の開催   【支援】 幼児教育アドバイザーの派遣  
【研究】 好事例の収集・発信

- 子ども一人ひとりの発達段階や実情に配慮した適切な指導や支援の実現

【支援】 幼児教育アドバイザーの派遣、相談窓口機能



**(仮称) 石巻市幼児教育推進会議の設置**

(仮称)「石巻市幼児教育センター」立ち上げ準備の中心機関

- 幼児教育推進プラン等の策定に向けた調査・研究
- 既存の「幼児教育振興庁内連絡調整会議」の構成員を拡充し、発展する形で設置
  - ⇒ 学識経験者
  - 幼児教育アドバイザー
  - も構成員とする